



TODA Group Global Vision

“喜び”を実現する企業グループ

お客様の満足のために

私たちは、確かな技術力と多彩な人財力で、お客様との最良のパートナーシップをつくります。

誇りある仕事のために

私たちは、社員をはじめ現場に携わる一人ひとりが、強い責任感と情熱をもって仕事に取り組める職場をつくります。

人と地球の未来のために

私たちは、時代の変化と社会の課題に真摯に向き合い、環境に配慮した安心・安全な社会をつくります。



お問い合わせ

お客様センター フリーダイヤル 24時間 365日受付

0120-805-106

<https://www.toda.co.jp/>

無断での転載はお断りいたします。
Copyright ©TODA CORPORATION All Rights Reserved.
戸田建設株式会社
未来の歩き方 ―戸田建設が描く未来の姿―

S1902-01A

未来の方 歩き

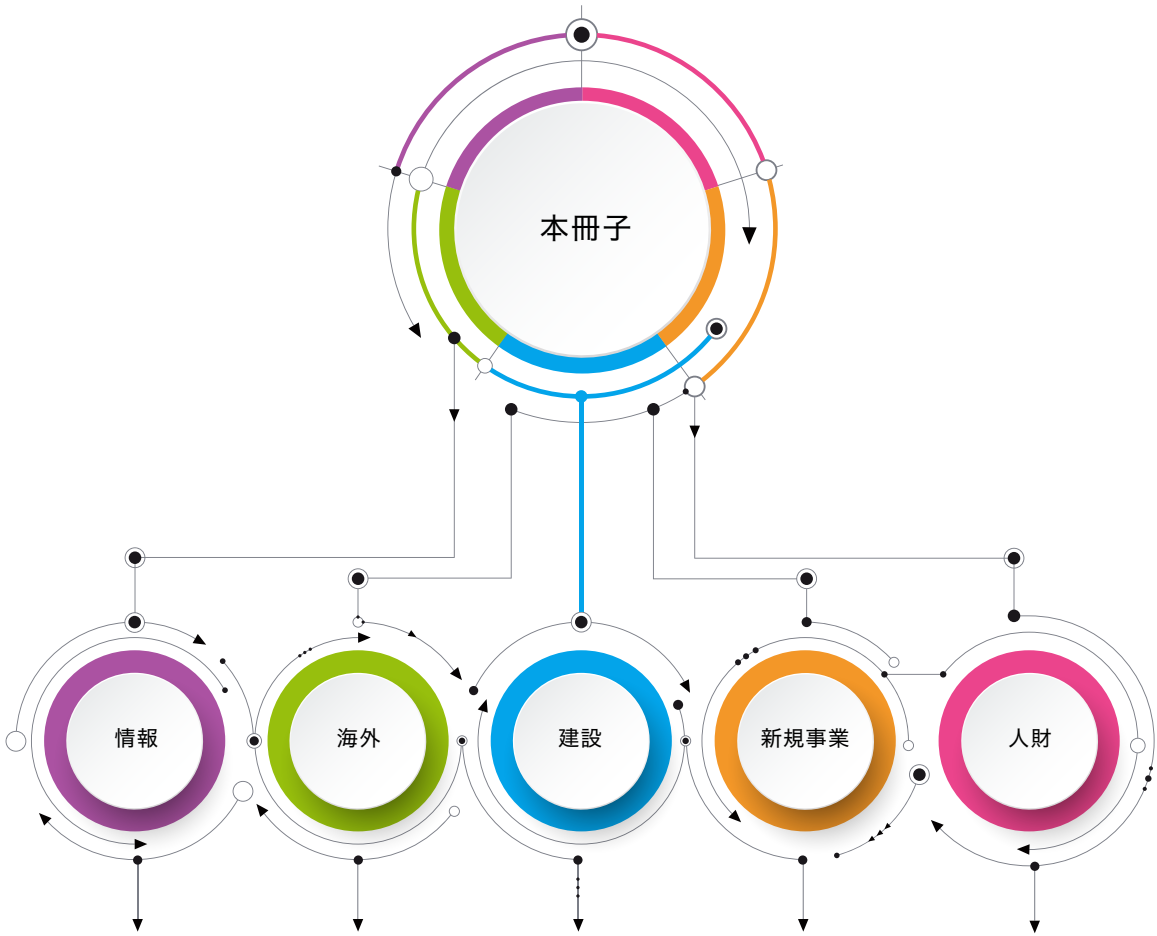
― 戸田建設が描く未来の姿 ―



当社は、2016年から様々な観点で未来を描いてきました。

それぞれの未来は
一本のストーリーの中でつながっています。

本冊子は、そのストーリー。
すなわち「未来における当社事業」の可能性を
表現したものです。



政治・国際関係をはじめとする外部環境は、近年予測不可能な変化が起こっています。また、テクノロジーや社会システムの複雑化も同時に進み、未来は見通しづらくなってきています。このような時代に戸田建設が歩む未来は、多くの可能性を含んだものであるべきで、外部環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長を目指す必要があります。

生物の生存競争における概念で「適者生存」がありますが、企業も同じように、強い企業ではなく最も環境に適応できる企業が生き残り、持続的に成長できると思います。

『未来の歩き方』は、このような考えに基づき、現状の延長線上にある未来よりも、可能性を広げた未来を提示しています。より多くの選択肢を示すことで、外部環境の変化に応じて適切な取り組みを実施していくことが可能となります。

戸田建設は建設事業を祖業とする企業ですが、当社が掲げるグローバルビジョン「お客様の満足のために」「誇りある仕事のために」「人と地球の未来のために」は、あらゆる事業に適応できる考え方です。

『未来の歩き方』は、未来の建設事業の在り方を真剣に考え理想に向かって取り組んでいくと同時に、新領域への挑戦を続けていくことを基本的な考え方として、戸田建設の可能性を描いたものです。

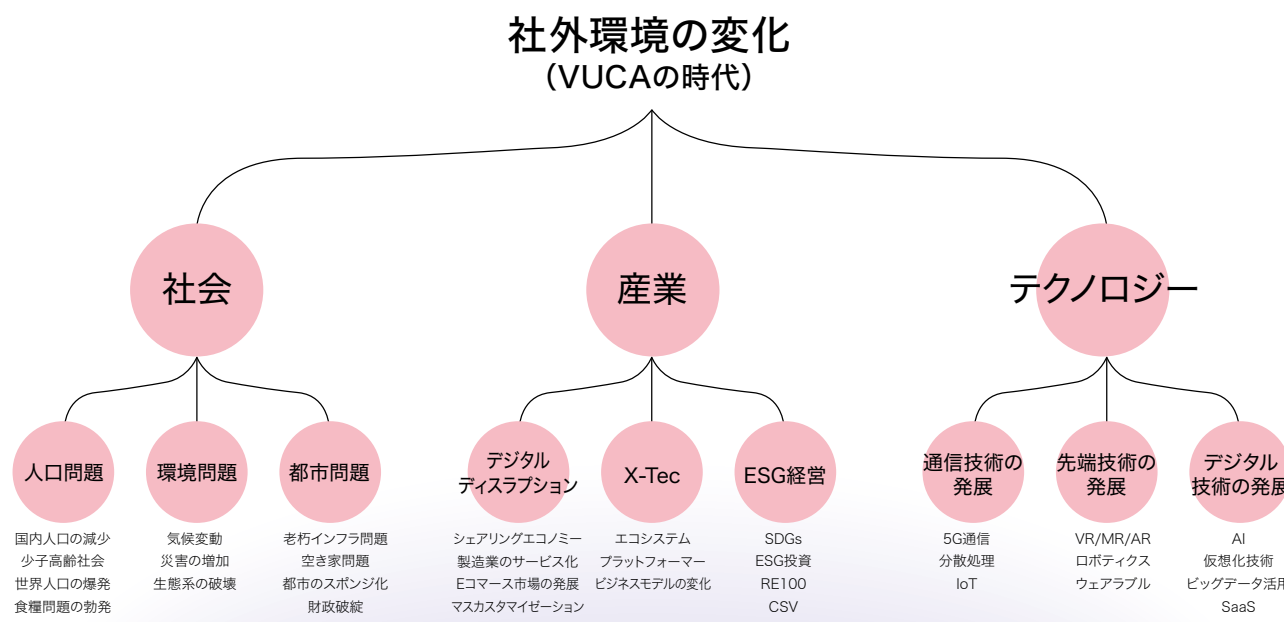
CONTENTS

01 外部環境の変化	P3-4
02 未来の歩き方 全体像	P5-6
03 建設を極める	P7-12
04 新領域への挑戦	P13-18
05 社内改革	P19-24
戸田建設が目指す持続的成長のイメージ	P25-26

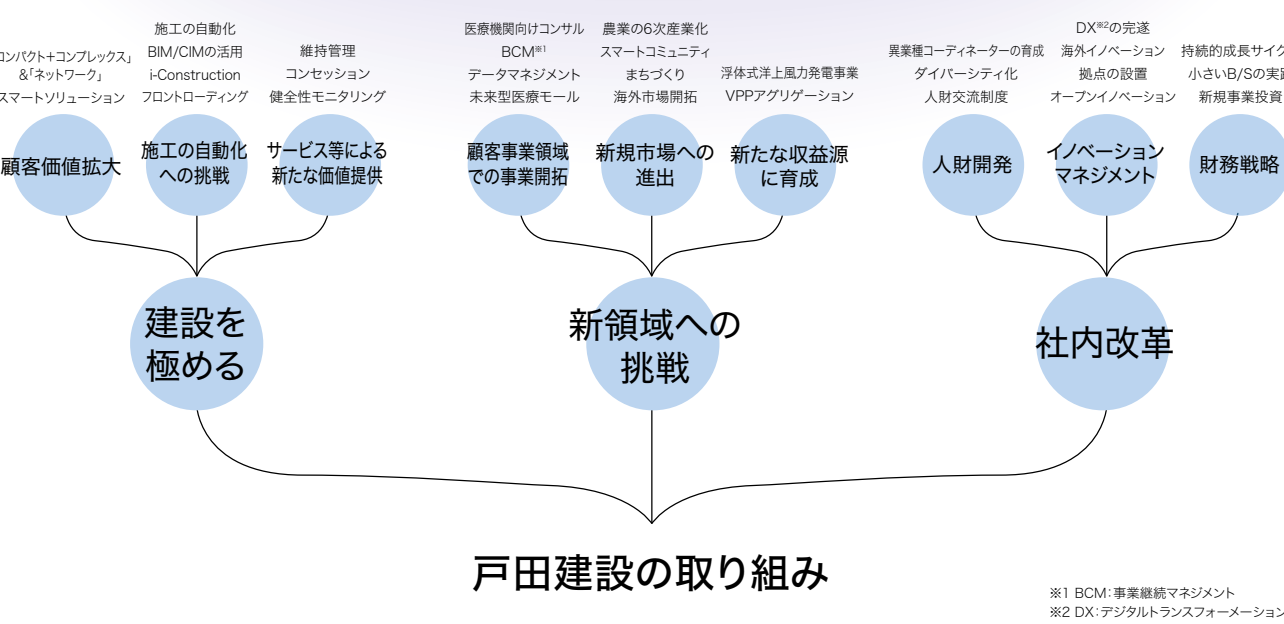
外部環境の変化

VUCAの時代

政治情勢や国際関係を始めとした外部環境は、近年絶えず予測不可能な変化が起こっています。同じように、社会問題の顕在化、イノベーションによる産業構造の高度化、テクノロジーの急速的な発展等をみても、その様相は大きく変化してきています。戸田建設は自社の持続的成長には、これらの外部環境の変化に柔軟に対応し、当社自体が絶えずCHANGEしていくことが必要条件であると考えています。



社外環境に柔軟に対応し、持続的成長を図る



戸田建設の取り組み

社会の変化

国内は超高齢社会と人口減少時代

世界で最も早く人口減少・少子高齢化が進む日本は、労働者不足や地方の過疎化などが大きな問題として浮上しています。経済成長の側面からは人口オーナス※を克服するためには、働き方改革や生産の自動化などによる大きな転換が求められています。



※ 人口構成の変化が経済にとってマイナスに作用する状態

環境問題の顕在化

気候変動は、世界各地で自然災害として顕在化し、人類共通の脅威として認識が高まってきています。そのような中でエネルギーシステムが転換期を迎え、世界的に再生可能エネルギー比率が大幅に向上すると考えられます。



産業の変化

製造業におけるビジネスモデルの変化

所有から利用へと消費の傾向が変化し、あらゆるモノが売り切りモデルからモノやサービスの利用期間に応じて料金を支払う方式であるサブスクリプションモデルに移行しつつあります。製造業などBtoB企業においても、IoTや通信技術を活用したサービス化の動きが加速してきています。

Make and Sellモデル(従来の製造業)



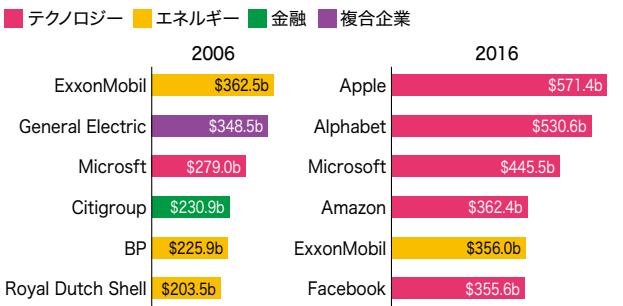
Service Basedモデル(新たな製造業)



The Age of Tech

The Age of Techと言われるように、2006年から2016年にかけて、アメリカの時価総額トップ企業はほぼデジタルネイティブな企業に入れ替わっています。これらの企業は、既存製品やサービスを提供してきたビジネスを淘汰し始めており、デジタルディストラクションと言われています。

アメリカの時価総額トップ企業

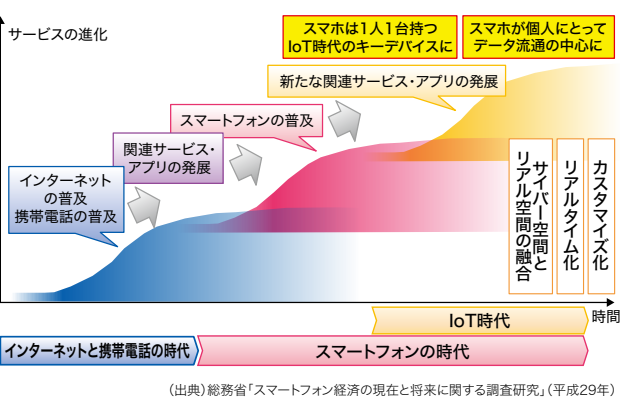


テクノロジーの進化

インターネット・スマホの普及

2000年前後のインターネットの普及、2007年のスマホの登場が、ビジネスの仕組みを大きく変化させています。これによりEコマースの利用など、いつでもどこでもオンデマンドでサービスを享受できる環境が整っています。

インターネット・スマホの普及によるサービスの進化

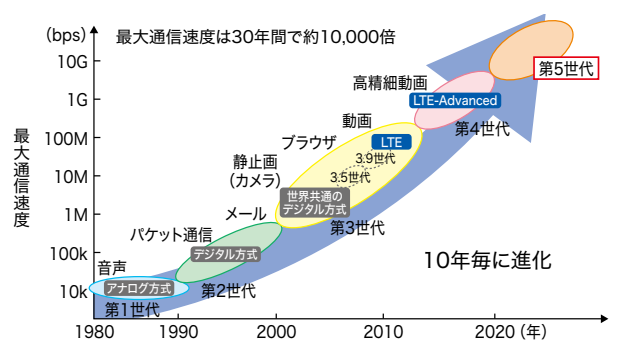


通信技術の発展

あらゆるものがネットに繋がるIoT時代の到来と、それに必須となる通信手段である5G及びMEC※の実現により、高速・大容量の通信が可能となります。これにより高精度動画のストリーミング配信が可能となり、遠隔監視、遠隔操作や自動運転等が実現します。

※ MEC (モバイル・エッジ・コンピューティング) : ユーザー近くにエッジサーバを配置し分散処理される技術

移動通信システムの進化(第1世代～第5世代)

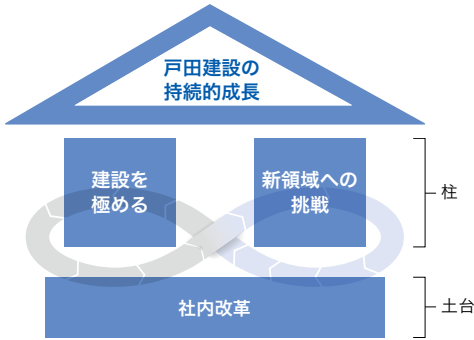


02 未来の歩き方 全体像

戸田建設が持続的成長を遂げていくためには、社会、産業、テクノロジーを始めとする社外環境の変化に柔軟に対応し、建設を中心に当社が社会に提供する価値を最大化する必要があります。そのために必要な要件を捉えるコンセプトとして、当社の未来の事業をけん引する柱に「建設を極める」「新領域への挑戦」というテーマを置き、そのために必要な土台作りとして「社内改革」を設けました。

当社の強みである建設を軸に、新領域事業とのシナジー効果を獲得しながら、事業領域を拡大させていくイメージを描いています。

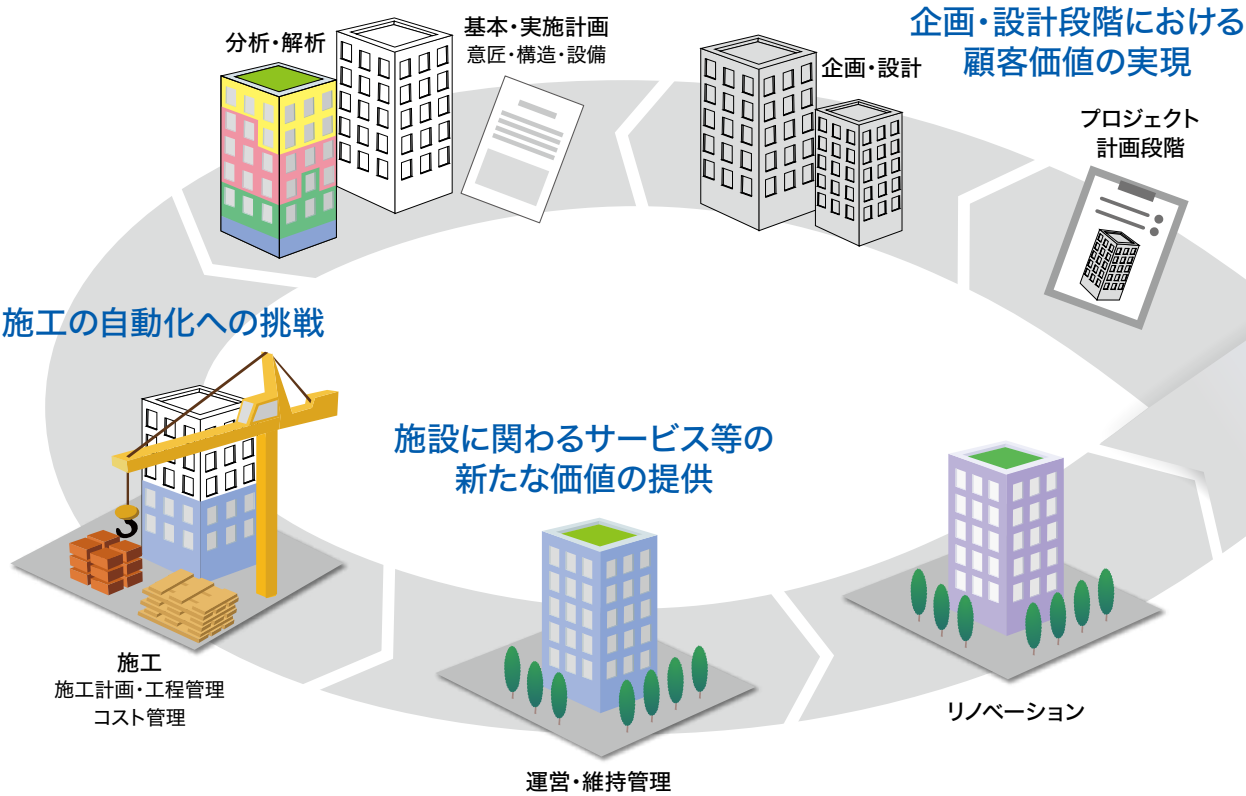
未来の歩き方
コンセプトイメージ



建設を極める ▶ 03

当社の本業である建設事業において従来の建設プロセスに加え、企画や運用、リノベーションなどのバリューチェーンの強化を構想しています。また、私たちの経験、知識を集約するプラットフォームである「戸田の頭脳」*を構築することで、一貫した情報共有を可能にし、営業から設計、施工、メンテナンス運用まで顧客に途切れない価値を提供します。更に新領域で得られたデータを活用し、新たな建設プロジェクトへフィードバックすることで建設と新領域でのシナジー効果を最大限発揮していくことを構想しています。

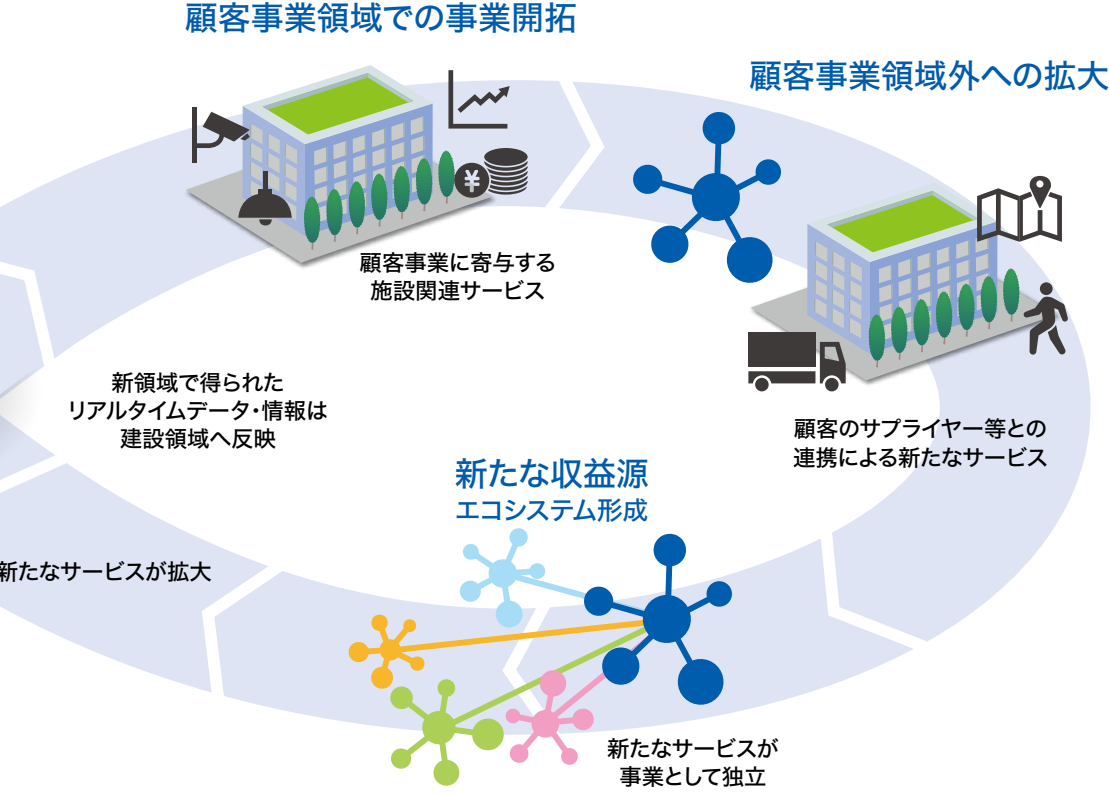
※ 当社が取得・保有するデータや経験など、全ての情報が集約された土台環境



新領域への挑戦 ▶ 04

当社が顧客に提供する価値は、従来は建物や構造物等の有形のものでした。これからは社会の変化を捉えた上で、サービスを通じた「顧客エクスペリエンス」*等の無形価値の創造にも積極的に挑戦していき、事業領域を拡大していきます。

※ 顧客が体験する満足感や価値



社内改革 ▶ 05

一連の事業ストーリーを実現するために、既存の仕組みを抜本的に改革します。ヒト・モノ・カネ・情報を次の時代に必要な形に変えていきます。

- ・ **デジタルトランスフォーメーション**: デジタルの変化を軸にしたビジネス変革
- ・ **人財開発**: 既存の価値観から脱却した人財の育成と獲得
- ・ **イノベーションマネジメント**: オープンイノベーションの積極的な実践
- ・ **財務戦略**: 事業活動を推進するエンジンとしてファイナンスを積極活用

建設を極める

戸田建設のバリューチェーン強化を図る

建設に関わるそれぞれの事業の強化を図り、社内の様々な活動を相互に結びつけることで、市場のニーズに対して柔軟に対応する事が可能となり、顧客に途切れない価値を提供します。

そのためには、情報のプラットフォームである「戸田の頭脳」を核に、「企画・設計段階における顧客価値の実現」、「施工の自動化への挑戦」、「施設に関わるサービス等の新たな価値の提供」の3つの柱を相互連携させ、バリューチェーンの強化を目指します。

これらを達成していくことで、盤石な事業体制にしていきます。

